

提案提出元	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会
-------	----------------------

項目	ご意見	
1. 周波数オークションを導入する際に検討すべき論点についてどのように考えるか。		
2. 論点に対してどのように考えるか。	番号	ご意見
3. その他 (留意事項や情報提供など)	<p>オークションの導入については、事業者間の公平な競争環境や、新規参入を阻害する恐れが考えられます。更に、地デジ移行後の空きスペースやホワイトスペースを活用する新サービスや新産業、雇用の創出を妨げる懸念があり、慎重に検討するべきと考えます。</p> <p>従って、オークションの導入については、電波は国民共有の財産であり、国民のために活用するものであるという基本的な合意の元で、その必要性・合理性を十分議論し、目的や効</p>	

3. その他 (留意事項や情報提供など)	<p>果に照らして検証し、その内容を国民に示した上で、方向性を検討していくことが必要と考えます。</p> <p>上記の考え方に基づき、以下の視点から意見を申し述べます。</p> <p>1) 産業政策の視点</p> <p>現状の論点案では、周波数オークションを実施することが前提となっておりますが、落札価格が必要以上に高騰しないような仕組みの検証、事業者やメーカーにとって周波数オークションがもたらす影響の検証、外資が入った場合の日本経済への影響の有無の検証、等の視点が無いように思われます。</p> <p>上記の検証結果を示した上で、オークション導入の方向性を示して頂きたいと考えます。</p>
-------------------------	---

## 2) ナショナルセキュリティの視点

3月11日に発生した東日本大震災では、多くの通信事業者の設備が被災し、大規模な情報断絶が発生しました。日本国民が安心・安全に通信ネットワークを使用するためには、今後益々無線ネットワークの重要性が高まるものと考えます。ナショナルセキュリティの視点では、我が国の通信事業者が運営するネットワークであることが望ましいとは考えますが、これらの観点でも十分な検証が必要と思います。

## 3) 消費者の視点

落札価格が必要以上に高騰した場合、事業者負担が増大した結果、利用者が不利益を生じる可能性も懸念されます。また、落札事業者が負担しきれなくなった場合には、サービス提供の遅れが生じたり、当初予定のサービス提供エリアをカバーできなかったり、消費者（サービス利用者）への悪影響も懸念されるどころです。上記のようなことが無いよう、十分に検証することが必要と考えます。